



## 今どきのお年玉事情(？\_？)

校長 奥 貴浩

新年を迎え、1か月が経とうとしています。年が明けてしばらくは穏やかな天気が続いたので、旅行やドライブなど、家族で出かけた方も多かったのではないのでしょうか。また、始業式で子供たちに話したことでもありますが、去年は能登半島地震、その被災地支援のために現地へ向かおうとしていた海保機が民間機に衝突してしまった事故など、心の痛む災害や事故があったことに比べると比較的穏やかな年の始まりだったと思います。

ただ、1年経った今もなお、被災前の生活に戻れずに苦しんでいる方々は数多く、他人事ではなく自分でできることを考えながらできるだけ早い復興を祈り続けたいと思います。また、災害がもし起こった時に、まず先にしなければならないことや最低限必要なものは何なのかなどを、書籍やメディアが発信する情報等で確認しておきたいものです。

さて、皆さんは、今年のお正月にお年玉をやり取りしましたでしょうか。私には2人の子供と5人の姪がおり、これまでお正月にはそれぞれに渡していました。ここ数年はその子供たちが大学に進学したり、就職したりすることでその機会が無くなっていましたが、今年は1歳になった孫に渡すことができました。彼にはまだまだお金の価値は理解できませんが、そのやりとりを家族に囲まれ、笑顔でできたことに幸せを感じることでした。…その気持ちが冷めやらぬ数日後、「最近のお年玉事情」というようなタイトルで、複数の放送局が特集でお年玉に関する内容を取り上げていました。

その概要は次のとおりです。



### 1 小学生がもらえる額※学研総合教育研究所調べ

2024年調査では、お正月にもらったお年玉の全国平均が20,225円（前年より839円減）で、10年前は18,727円。10年間でお年玉をもらった平均額が2,000円程度増えている。

### 2 小学生のお年玉の使い方※学研総合教育研究所調べ

2014年調査では、4位が本・雑誌、3位がおもちゃ、2位がゲーム（ゲーム機・ソフト）だった。2024年調査では、4位が食べもの（お菓子など）、3位がゲーム（ゲーム機・ソフト）、2位がおもちゃだった。10年前と現在の1位は、ともに「貯金」だった。その理由として、「とりあえず貯めておいて、ほしいものができた時に使いたい」「将来のために蓄える」が多かった。

### 3 お年玉のキャッシュレス化

近年、「ポチ袋を準備しなくていい」「年末年始のATMの混雑を避けられる」「新札に替えていい（手数料負担等）」「会えなくてもあげられる」などの理由で、電子マネーを送るなどのキャッシュレス化が進んでいる。また、まだ少数ではあるが、電子マネーやポイントを投資に活用する子供もいる（保護者管理のもと）。

お金は、生活を送る上でなくてはならないものです。でも、いくらお金があっても正しい使い方が分からなければ幸福な生活は送れません。例えば、もらったお年玉を今欲しいものに全部費やしてしまったら、後でそれ以上に必要なものが現れるかもしれません。その欲しいものが本当に必要なものなのか、いくらくらい残しておけば後で後悔しなくて済むのかなど、お金についての知識と経験は小さい頃から少しずつでも積んでいた方がいいのです。そのためには、保護者がお年玉の全てを管理するのではなく、もらった子供に責任を持たせることも必要なかもしれません。

### 小学生が習得すべき家計管理能力

低 学 年	中 学 年	高 学 年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものには価値があることを知り、ものを大切に使う習慣を身に付ける。</li> <li>○ お金の価値を知り、お金を大切にする。</li> <li>○ 欲しいものをすべて手に入れることはできないことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものやお金には限りがあることやお金の大切さを理解する。</li> <li>○ お金は貯めて将来使えることを理解する。</li> <li>○ こづかい帳をつけることなどを通じて、お金を管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お金の使い方について見直ししながら、自ら節度を守り節制に心掛ける。</li> <li>○ プリペイドカードなどは金銭同様に大切に扱う必要があることを理解する。</li> <li>○ 必要性を考えて、計画を立て、それに沿って買い物ができる。</li> </ul>

金融経済教育推進会議作成「金融リテラシー・マップ」より抜粋

上の表は、関係省庁（金融庁、消費者庁、文部科学省）が中心となり、有識者を集めて作成した「金融リテラシー・マップ」の一部です。日本は「人前でお金のお話をするのはよくない。」という古来の文化もあり、欧米に比べ「金融・金銭教育」が遅れていると言われていました。「現金」「電子マネー」「クレジットカード」「仮想通貨」「投資」など、お金の扱いは今後ますます複雑になることが予想されます。「金融リテラシー・マップ」を参考にするなどして、計画的に学校と家庭が連携して「金融・金銭教育」に取り組んでいきたいです。

毎週更新しています！

穂小ブログURL

<https://aokieschool.synapse-blog.jp/>





## 櫛小&岩南小1, 2年生「リモート授業」

櫛小1年生5名と岩南小1年生1名, 櫛小2年生1名と岩南小2年生3名がそれぞれ, 国語と道徳で「リモート授業」を実施しました。1年生は電子黒板で, 2年生はタブレット端末で顔を見合わせての授業でした。1名の学年は, 心だんは担任と1対1での授業なので, 同学年の友達と一緒に複数で学習できる貴重な機会となりました。



## PTA有志『門松作り』(兼校区3世代交流)

門松飾りは, 校区社会福祉協議会の協賛で「櫛校区ふれあいの日(3世代交流)」の活動として行いました。校区公民館役員・地域有志・PTA有志の方々に加え, 櫛小児童も多数参加しました。門松製作と並行して「豚汁」「おにぎり」調理も進められ, 門松を飾り終えた後は体育館でみんなで美味しく頂きました。食事後は, ニュースポーツ「ボッチャ」を楽しみました。門松は, 今年も大きく立派なものを飾っていただきました。きっと櫛小に「福」がやってくることと思います。



## 2回目の「交流給食」

低・中・高学年教室3カ所に分かれて, 2回目の交流給食を実施しました。校長先生・教頭先生も参加させてもらいました。



3学期始業式の代表作文発表は, 1年生の大休寺結都さんでした。堂々と発表できました。



## 子どもたちの頑張り！！

【令和6年度鹿児島ジュニア検定】合格者

5年 今西 楓 三枝 頼之助 西留 愛真  
宮原 楓斗 6年 古川 佳和

## 2学期「学校評価」

	項目	児童	保護者	職員
知	図書の本(図書・さんぺい号・図鑑)をよく読む	○3.4	2.6	2.6
	家庭学習の取り組み	3.2	▲2.4	▲2.8
	基礎・基本の定着, 向上	○3.4	▲2.8	○3.0
徳	元気な声で進んであいさつ・返事	○3.7	▲2.9	3.0
	学校が楽しい(いじめのない学級)	3.3	3.4	▲3.4
体	積極的な運動・遊びの取り組み	○3.4	▲3.2	※2.6
	早寝・早起き・朝ご飯の心がけ・確立	○3.7	▲3.2	3.0

3者の「共通する」項目の結果(一部)は上表のとおりでした。4段階評価で4に近いほど高評価となります。○は1学期より↑, ▲は1学期より↓, 記号なしは同数値という表記です。「家庭学習の取り組み」は保護者・職員ともに厳しめの評価で▲でした。「学校が楽しい」「早寝・早起き・朝ご飯」は3者ともに高評価でした。「積極的な運動」について, 職員評価の数値は, 体育学習や「チャレンジかごしま」の実践, 2学期「ランニング」の推進についての総合評価によるものです。体育学習以外での運動の取組の推進が今一歩という反省でした。学校HPには, 児童・保護者の評価表を掲載します。そちらもご覧ください。

## 2月行事予定

1日(土)	県P活動研究委属公開(曾於大会)
2日(日)	曾於市女性大会
4日(火)	さんぺい号
7日(金)	漢字検定
8日(土)	櫛小「学習発表会」
10日(月)	第5回PTA役員会
11日(火)	建国記念の日
13日(木)	保護者読み聞かせ(1~3年) 第3回学校評議員会
14日(金)	新入学児保護者説明会 算数検定
18日(火)	さんぺい号
19日(水)	なわとびチャレンジ 第5回PTA運営委員会
20日(木)	PTA交通安全指導
21日(金)	県スクールカウンセラー来校日
23日(日)	天皇誕生日
24日(月)	振替休日
25日(火)	吉井淳二展鑑賞(全校)
27日(木)	学級PTA 家庭教育学級「閉講式」